

情報メディア教育研究センター活動報告

上田 浩

法政大学 情報メディア教育研究センター 教授/副所長

2026 年 3 月 3 日



本研究センターは 2025-2028 中期計画を策定し、今年度はその 1 年目となりました。研究センターの概要を紹介し今年度の事業を総括します。

研究センターの概要

事業内容

計算科学とデータサイエンスの研究基盤の整備

AI の進展を見据えた計算科学，教育支援システムの研究開発と実践
学内外・企業との共同研究の推進

次のいずれかもしくは全て：

- (学生) 研究センターの活動に参加したい
- (研究者/企業) 共同研究を立案したい
- (企業) 次期ラボラトリの検討に参画したい

研究センターの概要

事業内容

計算科学とデータサイエンスの研究基盤の整備

AIの進展を見据えた計算科学，教育支援システムの研究開発と実践
学内外・企業との共同研究の推進

研究センターの概要

事業内容

情報メディア教育
研究センター

Research Center for Computing and Multimedia Studies

センター概要

研究活動

刊行物

サービス

利用案内

GDPRプライバシーポリシー

センター概要

情報メディア教育研究センターは、大規模情報システム、情報メディア教育システムの研究開発を推進し、情報メディアを活用した教育の企画・立案・実施の支援及び業務への支援を行うことにより、メディア基盤に係わる教育・研究の発展と情報技術の活用を図ることを目的として設置され、次に掲げる事業を行っています。

1. 大規模情報システムと計算科学の総合的な研究及び調査に関すること。
2. 教育支援システムの研究及び開発に関すること。
3. 情報メディア教育の普及、指導に関すること。
4. 多様なメディアを高度に利用して行う教育の内容、方法等の研究及び開発に関すること。
5. (1)～(4)に関する教育の企画・立案及び支援に関すること。
6. (1)～(4)を通じた社会連携および社会貢献に関すること。

→ 沿革

→ 組織

情報メディア教育 研究センター

Research Center for Computing and Multimedia Studies

センター概要

研究活動

刊行物

サービス

利用案内

GDPRプライバシーポリシー

研究活動

↑ 情報メディア教育研究センター ↓

法政大学情報メディア教育研究センターでは、ICTを活用した教育支援と計算科学の研究を推進しています。これらの活動において最先端のラボラトリシステムが活用されています。具体的な研究テーマは「研究プロジェクト」に記載されています。

ICTを活用した教育支援

次のようなテーマで研究を実施し、成果を本センターの実施する教育支援事業に活かすこととしています。本学の学習支援システムは本センターの研究成果をもとに運用されています。

- LMS(Learning Management System)をはじめとする教育支援システムの開発と利用推進
- スマートデバイスを活用した学習支援
- 教育におけるAIの活用

計算科学

計算科学は数値シミュレーションを科学の諸領域に適用する研究分野です。本研究センターでは、前身である計算科学研究センターの設立以来、計算科学の研究を進めています。対象領域は航空宇宙工学、物理学、化学など多岐にわたります。

研究センターの概要

事業内容

研究センターのミッションが研究支援と主体的研究の推進の両輪であることを踏まえ、計算科学、AI・データサイエンスの研究基盤を整備し、AIの進展を見据えた研究をグローバルな視点で推進する。

- 計算科学とAI・データサイエンスの研究基盤の整備
- AIの進展を見据えた計算科学、教育支援システムの研究開発と実践
- 学内外・企業との共同研究の推進

- 計算科学と AI・データサイエンスの研究基盤の整備
 - 研究基盤としてのハードウェアとソフトウェアの戦略的整備
 - 研究基盤の利活用のためのヒューマンウェアの整備
 - 研究成果のオープン化
- AI の進展を見据えた計算科学，教育支援システムの研究開発と実践
 - 計算科学分野における AI 活用
 - AI を活用した教育支援システムの開発と実践
- 学内外・企業との共同研究の推進
 - 共同研究の実施
 - 学会等研究コミュニティへの貢献

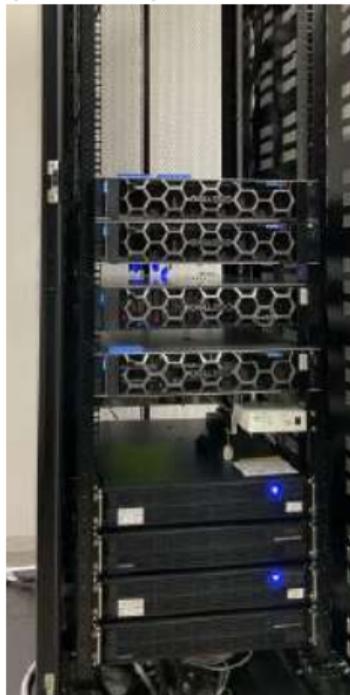
事業内容

計算科学とデータサイエンスの研究基盤の整備

AIの進展を見据えた計算科学，教育支援システムの研究開発と実践
学内外・企業との共同研究の推進

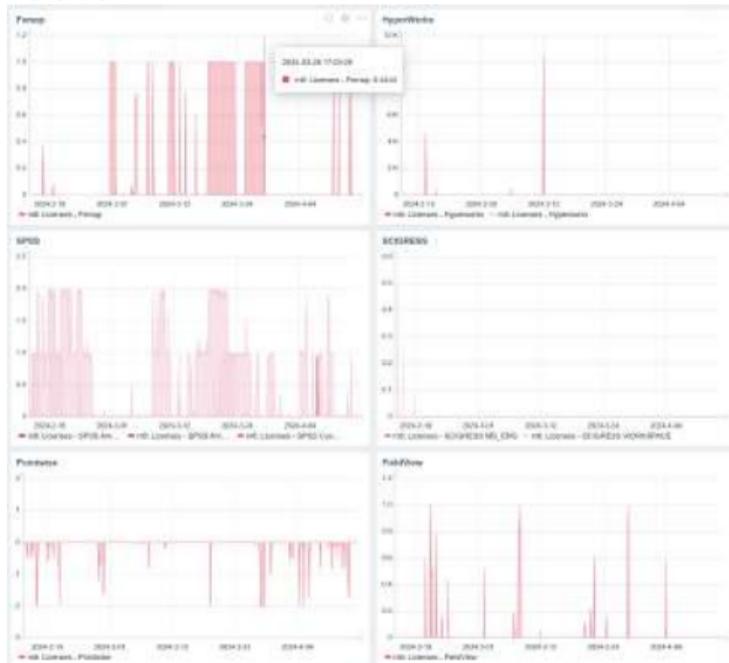
研究基盤としてのハードウェアとソフトウェアの戦略的整備

ラボラトリ (lab2022)



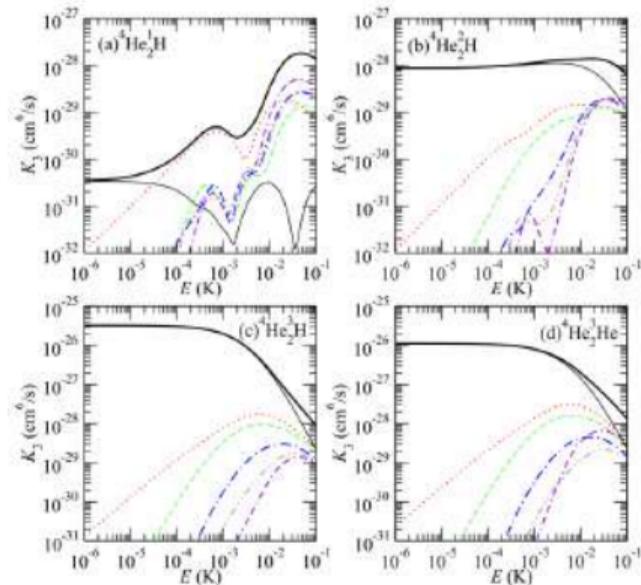
35 の研究プロジェクトで利用されている

可視化



サーバライセンス使用状況を次期 lab2027 の検討の基礎資料とする

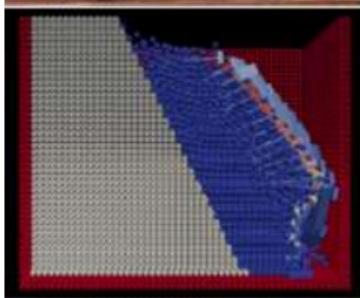
ソフトウェア整備の成果例



He と H の 3 体再結合レートの計算結果: H. Suno, Few-Body Systems, Vol. 66, pp.1-10, 2025

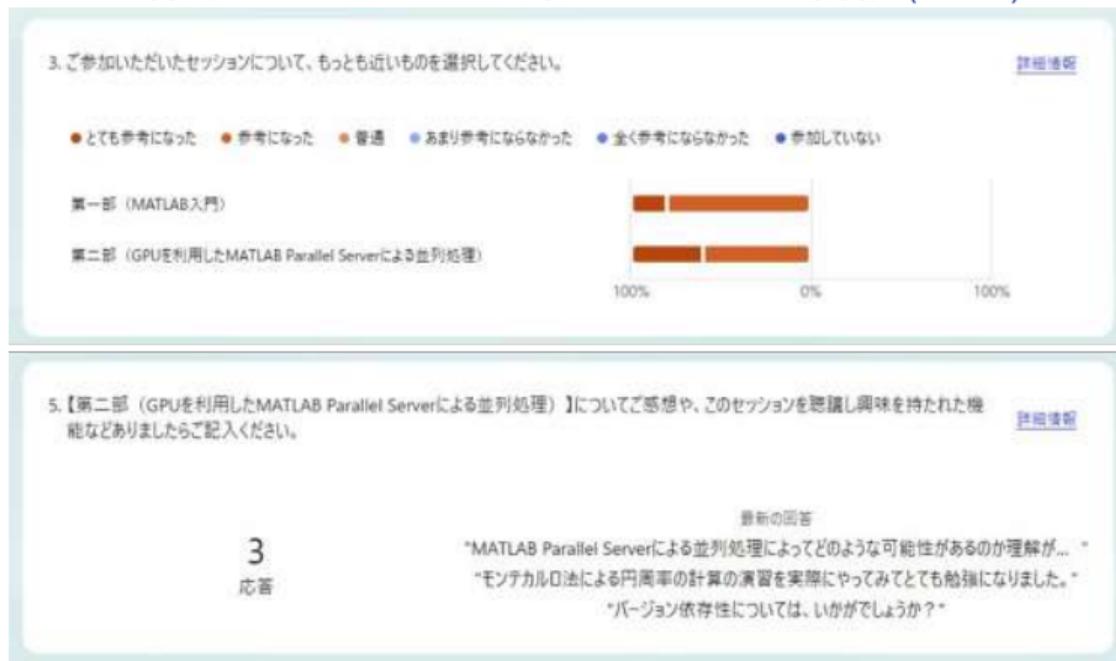
プログラム高速化支援

- SPH-DEM: 堤防の越流破壊解析手法



白石夏菜, ラップブロック工法擁壁の振動台実験と解析, 2025 年度 都市環境デザイン工学専攻修士論文概要

GPU を利用した MATLAB 並列処理セミナー開催 (10/31)



セミナー後のアンケート結果抜粋

研究報告発行

法政大学情報メディア教育研究センター研究報告

著者名: YDA (YDA) 2024.03.03

DOI: 10.14901/jstage.2024.03.03

2023年40巻

論文の発行日: 2024.03.03

目次

- 論文アーカイブ検索結果の取得に関する通知 - 中高等学校と大学研究機関間の共同研究報告の公表
- The Strengthening of inclusive education in Germany
- 生涯にわたる学習機会を確保するためのAIと企業社会の役割

目録アクセスランキング (2026年01月)

- 1 法政大学情報メディア教育研究センターの役割と今後の展望
- 1 生涯にわたる学習機会を確保するためのAIと企業社会の役割

シンポジウム開催

法政大学 HOEI University
情報メディア教育研究センター

生成AIが変える
大学・企業と学びのかたち

2026 3.3 Tue
13:30 - 17:00
法政大学 市ヶ谷キャンパス外濠校舎 S306

参加費 無料

法政大学情報メディア教育研究センターでは、「生成AIが変える大学・企業と学びのかたち」をテーマとしたシンポジウムを開催いたします。本シンポジウムでは、大学教育や研究、企業活動における生成AIの活用や社会実装や研究開発を共に、こころの学びや 働き方 人材育成の場について多角的に議論します。研究者、教員、学生、関係企業、団体の皆様のご参加をのぞいております。

Program

13:30-13:35	開会挨拶 松岡 由実利 (情報メディア教育研究センター 副所長 教授)
13:35-14:20	招待講演-1 生成AI時代の高等教育 登壇 徳 清彦 (徳島大学 教育学部 / 徳島大学 教育学部 / NIP 学びの未来 - ネットワーク研究開発 所長)
14:25-15:10	招待講演-2 ソニーにおけるAI民主化とAI Transformationについて 大塚 正博 (ソニーグループ株式会社 / ソニーグループ株式会社 / AI Acceleration 研究開発 / Sony Outstanding Engineer 2023) 平野 圭一 (ソニーグループ株式会社 / ソニーグループ株式会社 / AI Acceleration 所長 / ソニーグループ株式会社 / Sony Outstanding Engineer 2023)
15:15-16:35	研究プロジェクト成果報告 2025年度研究センター活動報告 上田 勇 (情報メディア教育研究センター 副所長 教授) ・ 生涯にわたる学習機会を確保するためのAIと企業社会の役割に関する研究報告 登壇 松岡 由実利 (情報メディア教育研究センター 所長) ・ フロント領域から見える大規模言語モデルのトレーニング学習 所 長 徳 (情報メディア教育研究センター 助教) ・ LLMを用いた対話 - 産学連携プラットフォームによる大学と企業の協働 登壇 松岡 由実利 (情報メディア教育研究センター 副所長) ・ ソニーとロボットのAIによる高度な連携 登壇 松岡 由実利 (情報メディア教育研究センター 所長)
16:35-17:00	閉会挨拶 松岡 由実利 (情報メディア教育研究センター 所長)
18:00-20:00	情報交流会 市ヶ谷キャンパス周辺で開催予定 会費別 6,000円 ※2025年2月17日(水)17:00までの予約申し込み必須

主催: 法政大学 情報メディア教育研究センター
https://www.hosei.ac.jp/meda/research/activity/symp2026/

後援: 大塚正博 研究会、教育システム情報学会、エビデンス駆動型教育研究協議会、学習分析学会

申込: https://bit.ly/fccms-symp2026

申込: 2026年2月24日(水)17:00 (情報交流会への参加は2月17日(水)17:00までのお申し込み)

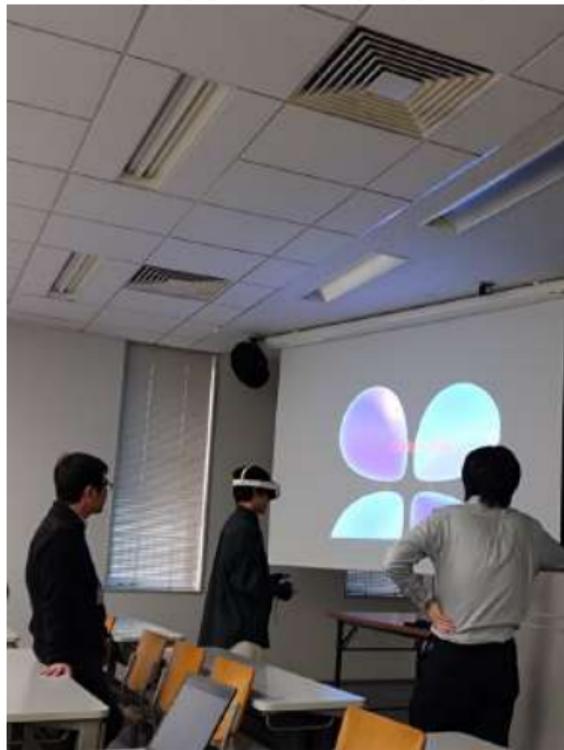
問い合わせ: meda-symp2026@hosei.ac.jp

事業内容

計算科学とデータサイエンスの研究基盤の整備

AIの進展を見据えた計算科学，教育支援システムの研究開発と実践
学内外・企業との共同研究の推進

xR・AI 技術による教育支援



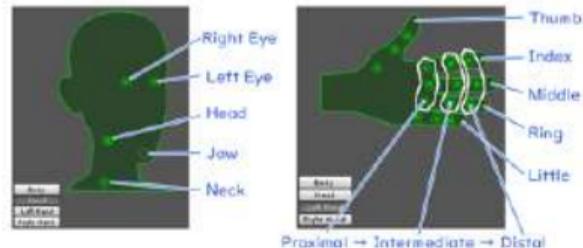
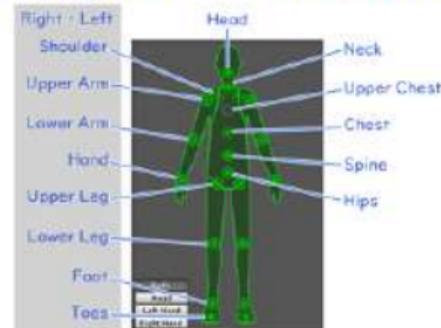
開発アプリ「Virtual Hydrogen」の応用物理学の授業でのデモ (理工学部 電気電子工学科)

AI と HPC

- AI で主流の Python と高い計算速度と信頼性を持つ Fortran の連携について調査
- PyTorch の性能測定を実施

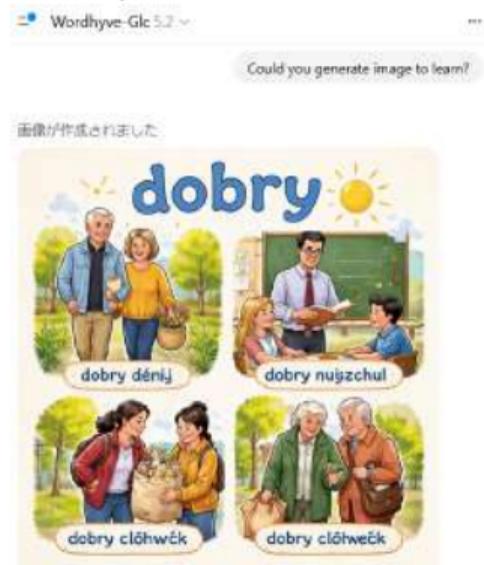
VR 酔いの評価実験

Unity Humanoid Avatar



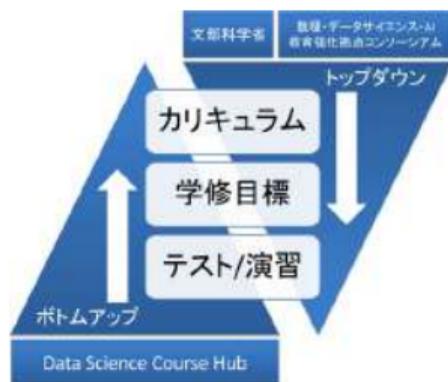
AI を活用した教育支援システムの開発と実践

Wordhyve



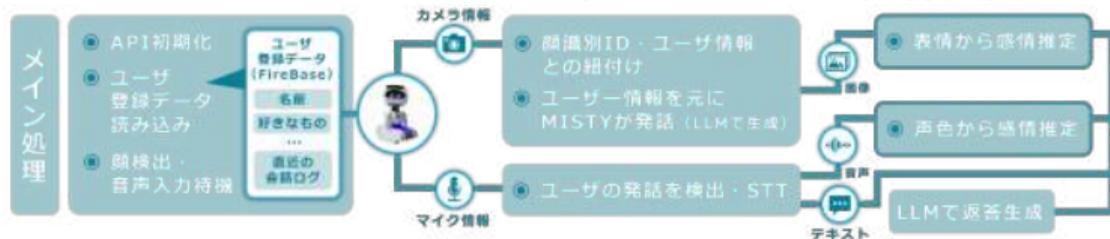
語学学習のためのカスタム Chatbot の開発と評価: Ludwigsburg University of Education との共同研究 (Kensuke Akao et al, CELDA2025)

ボトムアップ+データサイエンス教育の改善 (基盤 C)



- 学修目標は提示されている
- 評価方法は各大学まかせ
- ID(Instructional Design) と生成 AI を活用した問題の開発
- 全学共通「データサイエンス入門 A/B」における評価

Human Robot Interaction: ソーシャルロボット × 教育支援



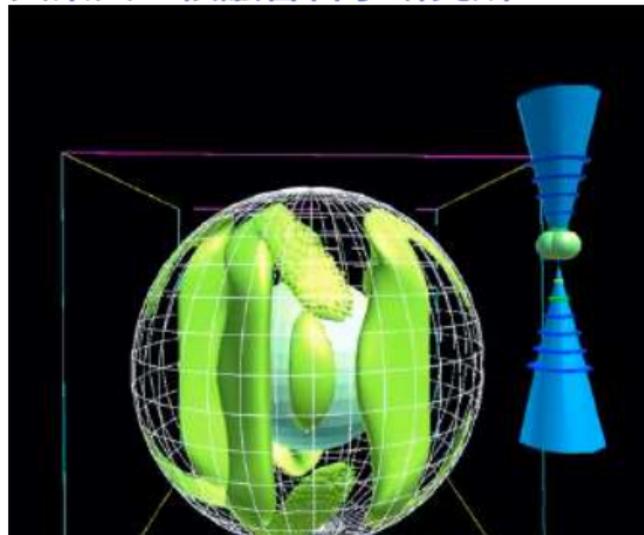
伊藤 心愛, 上田 浩, 感情に寄り添ったコミュニケーション支援を目的としたソーシャルロボットのマルチモーダル感情推定, 法政大学科学技術フォーラム 2026 (最優秀発表賞受賞)

事業内容

計算科学とデータサイエンスの研究基盤の整備

AIの進展を見据えた計算科学，教育支援システムの研究開発と実践
学内外・企業との共同研究の推進

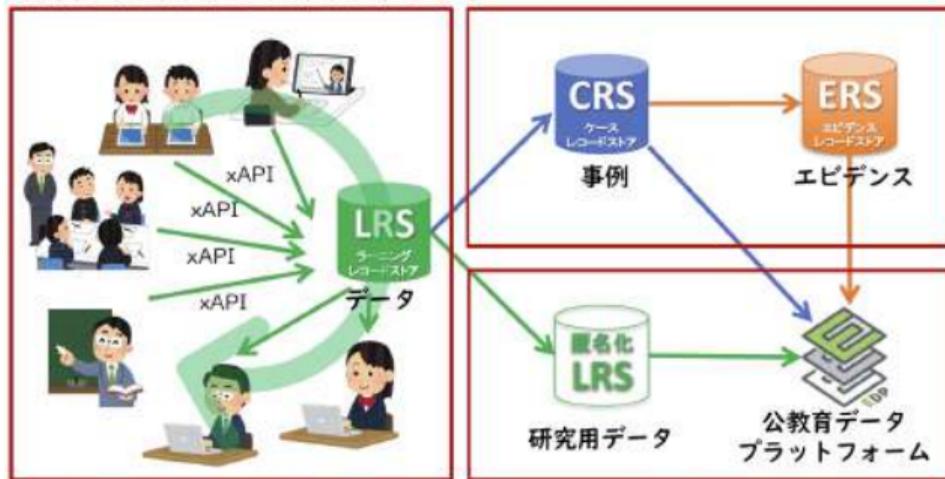
兵県大・核融合科学研究所



科学可視化ソフト VOIR の開発

京大・国立教育政策研究所

標準化 (国研 小課題B、科研 小課題A) 事例共有 (小課題A) エビデンス抽出 (小課題A)

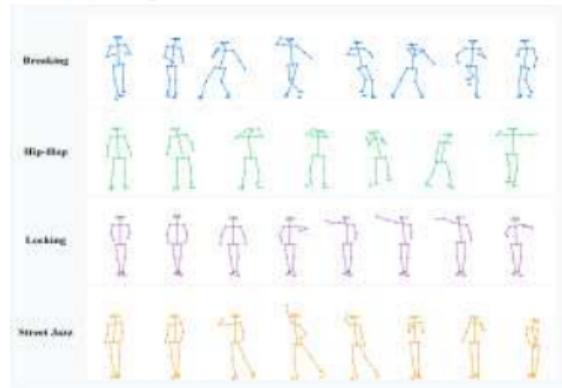


実証 (国研 小課題A、科研 小課題B)

ポリシー・二次利用 (国研 科研 小課題C)

データ駆動型教育実現に向けたポリシー検討

法政大学 IIST



Diffusion モデルを活用したコンテンツ生成 (Yufei Gao et.al, ICOINP2025)

Üniversitem Hacettepe(トルコ) 訪問



Univerza v Mariboru(スロベニア) からの訪問



清華大学訪問



KES2025 Invited Session

IS2: Aspects of intelligent learning systems: e-Learning across various educational contexts Chair: Prof. Dr. Hiroshi Ueda Thursday 11 September - 15:30 - 16:30 Room 2		
Session Code	Title	Main Author
36	Learning: Integrative Artificial Intelligence in Social Learning and Learning in Technical Skill	Shinya Aoyagi and Gozō Rano
56	Evaluation of Students' Behavioral Distances in Virtual Classrooms	Masaru Fukunishi, Enkiyappan and Toshihiro
695	Multimodal annotations and readability integration in vocabulary learning systems in pre-A1 days: A review and approach	Mohammed Refai Hanein
832	Analysis of Learning Time Data using Generalized Linear Regression Response Theory	Ryota Koike
396	SEPT: Uncovering Student Difficulties through Emotional and Physical Trajectories during Online Assessments	Edoardo Huettemann, Armin Yasouk, Benedek Lugoski and Laurel Pearson
IS3: Aspects of intelligent learning systems: e-Learning across various educational contexts Chair: Prof. Dr. Hiroshi Ueda Thursday 11 September - 15:30 - 16:35 Room 1		
Session Code	Title	Main Author
841	Virtual Hydrogen: a virtual reality hydrogen visualization tool that aims to make it easier to understand	Hiroki Sano and Nobuhiko Ohno
474	The Log Analysis Environment to Support Classroom Usage	Nobuhiko Hatanaka, Kohichi Ogawa, Shigetoshi Yokoyama, Shin-ichi Dateishi and Kazuo Iida
884	Classroom-based Dynamic Feature Selection for Dropout Prediction in Virtual Learning Environments	Umar Ghouse, Chahmed Lakha and Amal Shouk



<https://kesis.media.hosei.ac.jp/2025.html>

エビデンス駆動型教育研究協議会

SIG5研究会「教育・学習データ利活用ポリシーの運用を踏まえた研究の実例」

開催概要

日 時：2025年6月29日（日）13:00～15:00

会 場：オンライン（Zoom）

参加費：無料

主 催：一般社団法人エビデンス駆動型教育研究協議会

共 催：法政大学情報メディア教育研究センター

協 賛：ITコンソーシアム京邦

場 所：中部大学学術情報メディアセンター-第4研究室内

各自の発表題目

各自の発表はこれからご案内いたします。（公開順）

プログラム

13:00～13:13	開会：大久保文雄（九州大学 連動型SIG5リーダー）
	オープニング 坂方広博（ICDC代表理事、中部大学学術情報メディアセンター 顧問）
13:15～14:00	「法政大学における教育・学習データを利活用したキャンパス内の施設利用状況の把握について」 監修 廣田（公開順） 北原真樹（法政大学大学院先端理工学研究所 准教授）
14:00～14:45	「東京歯科大学 E-LUJ（教育・学習データ利活用）宣言の制定と教育関係者へのデータ活用について」 監修 廣田（公開順） 西村礼子（東京歯科大学学長特別顧問/法政大学客員教授 兼務）
14:45～15:00	クローゼング 坂方広博（ICDC代表理事、中部大学学術情報メディアセンター 顧問）
15:00	終了

CG・可視化研究会

法政大学 情報メディア教育研究センターは、2025年10月23日（木）に小幡井キャンパスにて第10回CG・可視化研究会開催を計画しています。詳しくは下記をご覧ください。

<https://idolab.sakura.ne.jp/IDOLAB/caveken/cave-107.html>

<https://idolab.sakura.ne.jp/IDOLAB/caveken/cave-107.html>

論文	4
国際会議論文	6
国内研究会論文	9
基調講演, 招待講演	2
受賞	3*
修士論文・卒業論文審査	1
研究会・セッション主催	3

*令和 7 年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞（開発部門）「機関別管理機能を有する大学
共通教材学習管理システムの開発」を含む

研究センターの概要

事業内容

計算科学とデータサイエンスの研究基盤の整備

AIの進展を見据えた計算科学，教育支援システムの研究開発と実践
学内外・企業との共同研究の推進

次のいずれかもしくは全て：

- (学生) 研究センターの活動に参加したい
- (研究者/企業) 共同研究を立案したい
- (企業) 次期ラボラトリの検討に参画したい

次のいずれかもしくは全て：

- (学生) 研究センターの活動に参加したい
- (研究者/企業) 共同研究を立案したい
- (企業) 次期ラボラトリの検討に参画したい

Join us!



小金井キャンパス管理棟 4F

RA-臨時職員公募 2026



業務内容

- 生成AIやロボティクス活用した学習支援システム
 - データサイエンス
 - センサーからのデータ収集システム
 - 学習用VR・スマホアプリ・Webシステム
 - GPGPUコンピューティング
- その他、センターの研究に係る業務の補助

待遇

RA(大学院生): **2,270**円/時間

臨時職員(学部生): **1,470**円/時間

連絡先

情報メディア教育研究センター事務室
media@ml.hosei.ac.jp

HOSEI UNIVERSITY
情報メディア教育研究センター
小金井キャンパス管理棟 4F

RA-臨時職員公募 2026



業務内容

- 生成AIやロボティクス活用した学習支援システム
- データサイエンス
- センサーからのデータ収集システム
- 学習用VR・スマホアプリ・Webシステム
- GPGPUコンピューティング

その他、センターの研究に係る業務の補助

待遇

RA(大学院生): **2,270円/時間**
臨時職員(学部生): **1,470円/時間**

連絡先 | 情報メディア教育研究センター事務室
media@ml.hosei.ac.jp

法政大学 情報メディア教育研究センター 研究報告 Vol. 41

投稿募集 [2026年3月13日 締切]

法政大学 情報メディア教育研究センターでは、情報技術とメディアを活用した教育・研究の成果ならびにその過程で得られた知見を報告することを通じ、情報技術とメディアの活用の啓蒙を行うことを目的に、紀要「法政大学情報メディア教育研究センター研究報告」を発行しております。以下の通り本紀要のVol. 41の投稿を募集いたします。ラボラトリの利用有無に関わらず、情報技術やメディアの教育と研究に関する研究論文、サーベイ/解説、事例/調査報告/テクニカルノート、研究・開発プロジェクト報告を広く募集しています。投稿期限は2026年3月13日(金)です。投稿いただいた論文はJ-STAGEにて公開されます。

https://www.hosei.ac.jp/media/research/activity/cfp_bulletin_vol41/

情報メディア教育研究センター 2026年度 研究プロジェクト募集

平素は本センターの研究活動に対し格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。本センターは、大規模情報システム、情報メディア教育システムの研究開発を推進し、情報メディアを活用した教育の企画・立案・実施の支援及び業務への支援を行うことにより、メディア基盤に係わる教育・研究の発展と情報技術の活用を図ることを目的として設置され、事業を行っております。研究の実施においては最先端のラボラトリが活用されています。

ラボラトリ(lab2022)のご利用は、年度ごとの研究プロジェクトによるものとしております。2026年度の研究プロジェクトを以下の通り募集いたします。